

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第78期第2四半期連結累計期間(2021年11月21日から2022年5月20日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

●当第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの変異型の感染拡大やロシアによるウクライナ侵攻により回復ペースが鈍化しました。インフレ圧力の強まりや原材料・部品の調達制約、中国のゼロコロナ政策によるリスク顕在化など、世界情勢は不確実性の高い状況が続く見込みです。

このような経営環境の中で、当社グループは、新しい日常における新たな中期2カ年計画『ADAPT PhaseⅡ』の最終年度を迎え、象印ブランドを現状の家庭用品ブランドから「食」と「暮らし」のソリューションブランドへ進化させるため、「領域の水平的拡大」、「領域の垂直的拡大」、「経営基盤の強化」に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内では電気ケトルや加湿器の売上が増加したことに加えて、海外でも炊飯ジャーなど調理家電製品が好調に推移し、45,247百万円(前年同四半期は42,504百万円)となりました。

利益については、売上高の増加や販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は4,844百万円(前年同四半期は4,841百万円)となりました。経常利益は5,593百万円(前年同四半期は4,787百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,673百万円(前年同四半期は3,075百万円)となりました。

■2022年11月期業績予想(為替レート1ドル=125円)

	前回予想	今回予想
売上高	793億円	815億円(前回予想比 2.8%増)
営業利益	44億円	50億円(前回予想比 13.6%増)
経常利益	47億円	60億円(前回予想比 27.7%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	34億円	40億円(前回予想比 17.6%増)

●今後の取り組みについて

新たな中期2カ年計画『ADAPT PhaseⅡ』の最終年度を迎え、事業領域の拡大、経営基盤の強化に取り組んでおります。具体的には、「象印食堂」、「象印銀白弁当」に続く第3弾のプロジェクトとして、おにぎり専門店「象印銀白おにぎり」を阪神梅田本店に出店するなど事業領域の拡大に取り組まれました。また、お客様のマイボトルをお預かりし、洗浄・保管して、ご注文時に飲料を入れた状態でお渡しする有料サービス『ZOJIRUSHI MY BOTTLE CLOAK(象印マイボトルクローク)』の実証実験を開始するなど、経営基盤の強化にも取り組みました。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が引き続き不透明ではありますが、主力の炊飯ジャーを中心に新製品を投入し、売上の維持拡大を図ります。業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績の状況をふまえつつ、前提とする為替レートの変更に伴う原価率の上昇も勘案し、通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

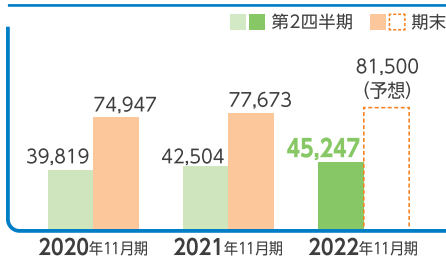
厳しい経営環境ではございますが、株主の皆様におかれましては、今後ともますますあたたかいご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
社長執行役員
市川 典男

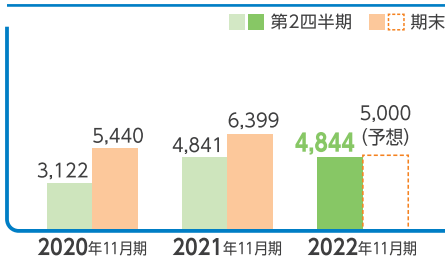


連結財務ハイライト

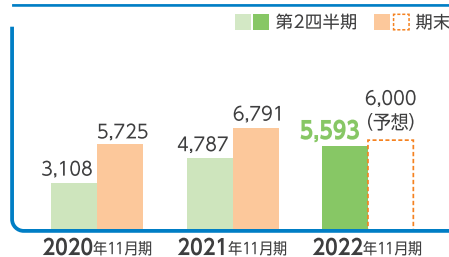
売上高 (単位:百万円)



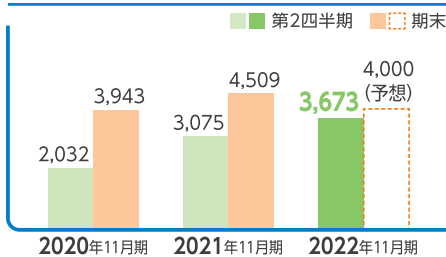
営業利益 (単位:百万円)



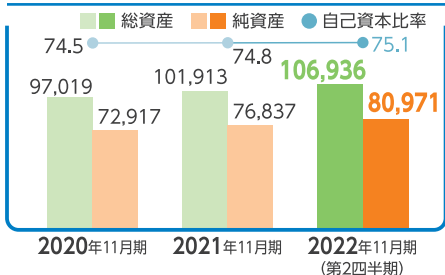
経常利益 (単位:百万円)



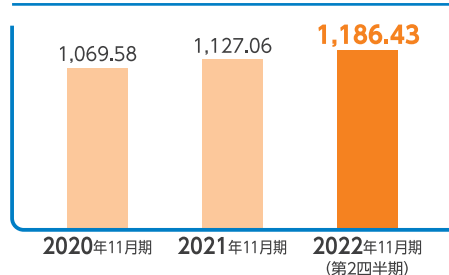
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産・純資産/自己資本比率 (単位:百万円・%)



BPS[1株当たり純資産] (単位:円)

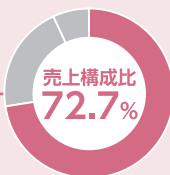


(注)当期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

製品区分別業績の概況

調理家電製品

売上高 **328億76百万円**



主な製品



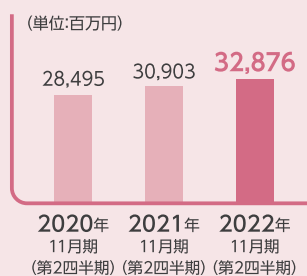
圧力IH炊飯ジャー
(NW-FA型)



オーブントースター
(EQ-JA型)

国内での巣ごもり需要が一巡するものの、海外での販売好調で売上が増加

- [国内]** ●炊飯ジャーは、最高級モデルの圧力IH炊飯ジャー「炎舞炊き」シリーズは好調を維持しましたが、全体としてはほぼ前年並みの実績にとどまりました。
- 電気ケトルは市場の拡大傾向もあり好調に推移しました。
- 電気調理器具では、巣ごもり需要が一巡した影響もあり、需要の高かったホットプレートやオーブントースターなどの販売が減少し、前年実績を下回りました。
- [海外]** ●炊飯ジャーや電気ポット、電気調理器具が、北米市場や中国市場、台湾市場で好調に推移しました。
- 特に北米市場では、経済の回復に加え巣ごもり需要が継続し、調理家電製品の販売が好調に推移しました。



リビング製品

売上高 **93億31百万円**



主な製品



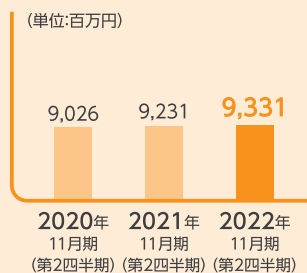
ステンレスキャリータンブラー
(SX-JA型)



ステンレスクールボトル
(SD-HA型)

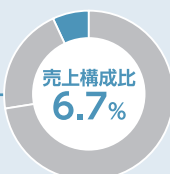
国内ではステンレス製品の販売が増加し、海外ではステンレスポットやガラスポットが好調

- [国内]** ●あらゆるシーンで気持ちよく使えるデザイン・性能を目指した新しいカテゴリー「ステンレスキャリータンブラー」を新規投入するなど、ステンレス製品の販売が増加しました。
- [海外]** ●ステンレスボトルの販売は低調でしたが、ステンレスポットやガラスポットが好調に推移したことにより、全体では前年実績を上回りました。



生活家電・その他製品

売上高 **30億39百万円**



主な製品



加湿器
(EE-DC型)

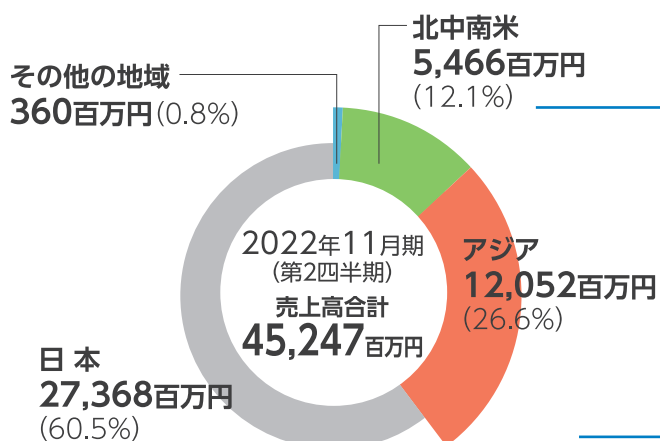
衛生志向の高まりにより売上が増加

- [国内]** ●加湿器が好調に推移し前年実績を上回りました。
- その他製品は、前年実績を上回りました。

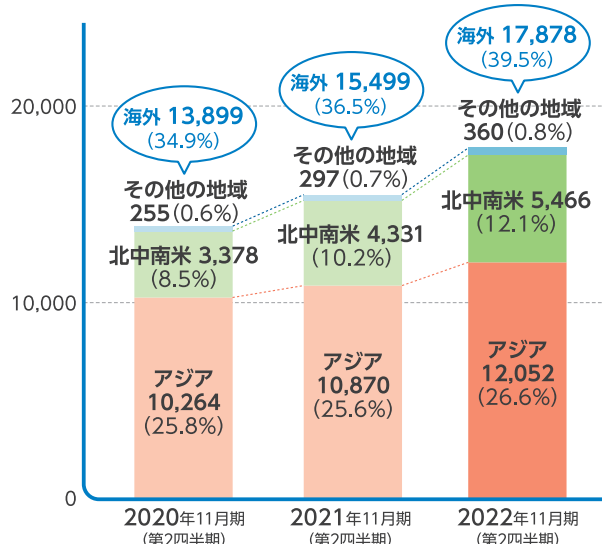


地域別業績の概況

■2022年11月期(第2四半期)
地域別売上高構成比



■海外売上高 / 海外売上高比率の推移 (単位:百万円)



トピックス



「象印銀白おにぎり」オープン

当社は2022年4月、“炊き方極めた、おにぎりです。”をコンセプトとしたおにぎり専門店「象印銀白おにぎり」を阪神梅田本店に出店いたしました。本店舗は、常設のごはんレストラン「象印食堂」とお弁当専門店「象印銀白弁当」に続く第3弾のプロジェクトとして、当社的高级炊飯ジャー「炎舞炊き」で炊き上げたごはんで作るおにぎり専門店となります。

ライフスタイルが変化・多様化する中、日本人のごはん消費量は年々減少しています。そのような中で炊飯ジャーの開発を続けてきた当社は、「おいしいごはんをもっと手軽に食べていただき、日本のごはん文化を守る」との想いのもと、日常的に百貨店を利用する30~50代の女性をメインターゲットに出店を決めたものです。

オープン当日は一部商品が完売するほど、多くのお客様にご来店いただきました。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



『ZOJIRUSHI MY BOTTLE CLOAK』の実証実験を開始



当社は、2022年2月15日より三ノ宮(神戸)、2022年3月1日より淀屋橋(大阪)の店舗にて、お客様のマイボトルをお預かりし、洗浄・保管して、ご注文時に飲料を入れた状態でお渡する有料サービス『ZOJIRUSHI MY BOTTLE CLOAK (象印マイボトルクローク)』の実証実験を開始いたしました。

本取り組みを通じて、マイボトルユーザーが不満に思われている「持ち運びの重さ」や「飲み物の準備」「使用後の洗浄」といった手間を無くし、マイボトル(リユース容器)の継続利用、および新規ユーザー獲得を促進することで、循環型社会の実現を目指してまいります。

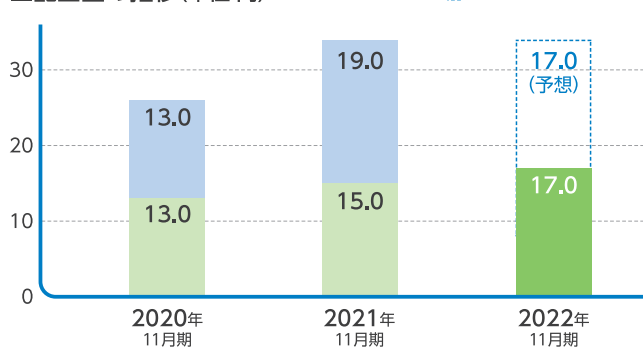
配当について

当社グループは、株主に対する利益還元を重要政策の1つであると考えており、企業基盤の強化ならびに将来の事業展開のための内部留保や収益見通しなどを総合的に勘案し、安定的な成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、当期の中間配当は1株当たり17.0円を実施いたしました。

また期末配当については、1株当たり17.0円を予定し、年間配当額は1株当たり34.0円を予定しております。

■配当金の推移(単位:円)



株主優待制度のご案内

◆株主優待内容

当社商品の優待価格および優待特別割引による販売
※優待特別割引については、右の表をご確認ください。

◆株主優待対象基準

11月20日現在の当社株主名簿に記載または記録された単元株(100株)以上の株式を保有されている株主様

◆株主優待のご利用方法

年1回、毎年2月に対象株主様へ優待販売のご案内および申込はがきを送付いたします。優待販売のご案内をご覧いただき、ご希望の商品をお申込ください。

■優待特別割引

ご所有株式数	優待特別割引額
100株以上 500株未満	ご購入金額合計より 1,000円割引
500株以上 1,000株未満	ご購入金額合計より 2,000円割引
1,000株以上	ご購入金額合計より 4,000円割引

株主メモ

事業年度	毎年11月21日から翌年11月20日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	■定時株主総会 11月20日 ■剰余金の配当 期末 11月20日 中間 5月20日
1単元の株式数	100株
公告方法	当社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.zojirushi.co.jp/corp/ir/koukoku.html
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社等までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部までお問い合わせください。
TEL 0120-094-777(通話料無料)

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 TEL06-6356-2311

〈ホームページのご案内〉 <https://www.zojirushi.co.jp>
企業情報や製品情報など象印マホービンの最新情報をご覧いただけます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

証券コード:7965